日本キリスト教団 **東金教会〔１１〕**

２０１８年3月１８日 復活前第２主日礼拝

年度目標　《繋がれて生きる》

聖　句　わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。　ヨハネ福音書１５章５節

## 【礼拝式次第】

| | | |
|---|---|---|
| 司式 | 宮中 | |
| 奏楽 | 中村 | |
| 受付 | 阿部 | |
| 案内 | 梅田 | |
| 名札係 | 戸波 | |
| 礼拝感謝祈祷 | 猪野 | |
| 〃　〃 | 藤本 | |
| 前奏 | 中村 | |
| 讃美歌 | ５２６ | 一同 |
| 使徒信条 | ５６６ | 〃 |
| 交読文 | １０ | 司・会衆 |
| 主の祈り | ５６４ | 一同 |
| 聖書 | マルコ福音書 10：32～45 | 司会者 |
| 祈祷 | | 宮中 |
| 新聖歌 | １１７ | 一同 |
| み言葉の伝え | | 朴 |
| ［今の自分を『疑って』見て］ | | |
| 讃美歌 | ３７７ | 一同 |
| 献金 | | |
| 礼拝感謝 | | 猪野 |
| 〃　〃 | | 藤本 |
| 報告 | | 宮中 |
| 頌栄 | ５４１ | 一同 |
| 祝祷（派遣） | | 朴 |
| 後奏 | 新聖歌５８ | 聖歌隊 |

## 【集会案内】

受洗準備会　3月２１日(水)午後7時半～
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
交わり会　本日礼拝後
婦人会・信交会　本日「交わり会」後
聖書輪読会　3月25日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　３月25日(日)10:25-10:30

## 【報告】

☆去る13日(火)持たれましたときがね幼稚園第90回卒園式は無事守られ、主のご祝福のうちに２４名の卒園児が巣立って参りました。ご加祷有り難うございました。
☆3月20日幼稚園第三学期終了式が持たれます。ご加祷下さい。
☆次週２５日は棕櫚の主日です。お覚え下さり、努めて礼拝にご出席下さい。。
☆次週は洗礼試問会が予定されております。受洗希望者及び長老方は礼拝後教会事務室にお集まり下さい。
☆３月３０日(金)午後７時半より受難日祈祷会が予定されております。朴　　先生がご担当です。ご参加下さい。
☆受難週克己献金、イースター献金をお献げ下さい。
☆九十九里教会受難日コンサート
3月30日(金)午後3時～4時---詳細は掲示板

## 【臨時長老会報告】報告

日時…3月４日　礼拝後　場所…教会事務室
出席…中村牧師　朴牧師　森川　　書記)
岡村　　足立　　土屋　　藤本
議事…受洗希望者として阿波谷　　姉の申し出があり、長老会はこれを承認し、３月２５日に洗礼試問会、4月1日のイースター礼拝において坂本　　姉と共に洗礼式を執行することを承認した。

## 【分区・支区・教区報告】

○東総分区牧師会　3/20 10：30-　於・東金

## 【３月18日～３月24日の誕生者】

○伊藤　　姉　○戸波　　姉　○林　　姉
※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

## 【先週集会状況】

| 集会名 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 主日礼拝(3/11) | 16 | 31 | 47 |
| 受洗準備会(3/14) | 2 | 6 | 8 |
| 聖書輪読会(3/11) | 2 | 5 | 7 |
| 教会学校(3/11) | 8 | 12 | 20 |
| | | | |

| 早天祈祷会 | | | |
|---|---|---|---|
| 日 | 男 | 女 | 計 |
| 3/12 | 1 | 2 | 3 |
| 3/13 | 1 | 2 | 3 |
| 3/14 | 1 | 2 | 3 |
| 3/15 | 1 | 2 | 3 |
| 3/16 | 1 | 3 | 4 |

主日礼拝献金(３/１１)……３７,０００円
教会学校献金(３/１１)……７,９５０円

## 【今日のメッセージ】

題　［今の自分を『疑って』みて］
聖　書　マルコ福音書１０:３２～４５

1・何をあなた方は求めているのか

2・他の弟子たちの怒りの底

3・わたしが求めているのは役割か権威か

## 【次週(３月２５日)礼拝案内】

題　「ロバの子に乗って」
聖　書　マルコ福音書１１:１～１１
交読文　１１
讃美歌　１０番　１３０番
新聖歌　２３５番

## 【次週(３月２５日)礼拝当番者】

| | | |
|---|---|---|
| 御言葉の伝え | … | 中村征一郎 |
| 司式者 | … | 戸波 |
| 奏楽者 | … | 中村 |
| 受付者 | … | 深山 |
| 案内者 | … | 井上 |
| 名札当番 | … | 安延 |
| 礼拝感謝祈祷 | … | 藤田 |
| 〃　〃 | … | 五木田 |
| cs お話し | … | 安延 |
| 会堂清掃者 | … | 薬師寺 |
| 〃　〃 | … | |
| 花係 | … | 小林 |
| 看板書き | … | 藤田 |

## 【聖書から】

あなたがたは一つの霊によってしっかり立ち、心を合わせて福音の信仰のために共に戦っており、どんなことがあっても、反対者に脅されてたじろぐことはないのだと。

フィリピ書一章二七～二八節

パウロはここで理想的な信仰者の在り方を示している。彼は先ず、「一つの霊によってしっかり立ち」と語る。一つの霊とは言うまでもなく聖霊を指している。あのペンテコステを思わせる言葉である。ペンテコステの時、エルサレムの、とある二階屋に弟子たちが身を寄せ合っていた時、神の霊が炎のように弟子たちに下ったと言う。其処に降された神の霊は一つの霊であった。人はみな同じではない。凡ての者が違う。老若男女様々に生まれも育ちも違う。性格も考え方も違う。けれども神の霊はこの異なった者たちを一つにする。違うそれは同じ神を告白する者の一致である。そが違いを受入れ合い、一つにされるのである。それは裁き合わないことを意味する。自分と他者の違いを主張し合わないことを互いに尊重し合う。これは大切である。同じ信仰に生きていることを互いに尊重し合う。そして次に「心を合わせる」とある。一つの霊に生かされつつ互いの賜物を尊重し合う。自分が上で他が下なのではない。自分が福音の真理を捕まえており、他は未だ足りないのではない。そういったもの、与えられているものを出し合うのでなく、互いに持っている己と他を識別し合うのである。一致した者たちが勝つのである。小さな群れの戦いは総力戦でやはり信仰者は少数である。ましてやその差異を言い合っている中で互いがその差異を言い合っている。そして三に教えられているこから敵に勝たなければならないのである。そして云うことである。神の福音に生きるこれは覚悟を「決めるこじろがないのである。もっとめると云うことである。そしてじろがない」と云うことである。もっと覚悟を決めると云うことである。どうしてそれは覚悟を決めると云うことである。どうしてそれは覚悟を決めると云うことである。どうしてそれは